

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		担当部課	部課コード	120400	2998-9168
事業コード	橋りょう長寿命化修繕事業	道路維持課			
120407		グループ	橋梁修繕グループ		
開始年度		平成 25 年度	終了年度		平成 年度

事業の概要	事業の種類別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市総合計画、所沢市橋りょう長寿命化修繕計画			道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	章 街づくり	節 道路	基本方針	道路環境の整備
事業開始の背景	橋りょうは、設置されている環境条件に影響されて発生する亀裂や変形、腐食等の経年劣化に対応する必要があるとともに、近年の大地震にも耐えられるよう新しい基準に対応する必要があるため、定期的な点検や調査と、その結果に応じた修繕や補強を行うこととした。また国は、高度経済成長期に集中的に整備された道路橋りょうが今後一斉に老朽化が進み、これらの維持管理・更新が重要な課題であるとして、平成19年から橋りょう長寿命化修繕計画策定事業を推進し、更に平成26年には、橋りょう等の5年に1度の定期点検を義務づけ、これらを基にするメンテナンスサイクルを確立するとしている。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	風雨等による長年の劣化に対して定期的な点検を実施し、その結果から補修・補強等の維持管理を行う。また、地震等の災害に対する安全性を確保する。橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、予防保全の観点から必要な修繕を計画的に進めることで橋りょうを延命化し、維持管理費用の縮減を図る。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	6 件
	劣化の進行している橋及び維持管理を必要とする橋りょう。 橋りょう長寿命化修繕計画の対象橋りょう。			平成 27 年度	7 件
事業の具体的な内容及び実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょうの役割に合せた適切な管理を行うために、路線の重要性に応じた耐震性能等の調査を行い、効率的な管理を行う。 災害対策としての補修及び補強等については、必要に応じて修繕や工事を実施する。 定期的な橋りょう点検(調査)や健全性の診断は、専門的判断が必要になることから業務委託により実施する。 定期点検(調査)や診断の結果は、記録するとともにこれらにより、橋りょう長寿命化修繕計画の見直しを行う。 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、予防保全的な修繕のための詳細設計を業務委託により実施し、修繕工事を施工する。 保守点検など日常管理が必要なものについては、業務委託により実施する。 				

経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		11,800	18,817	40,666
	決算(見込み含む)		11,410	17,539	
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人) (0.00 人)	(0.00 人) (0.00 人)		
	正規職員人件費	2.82 人	24,593	1.85 人	16,021
	事業費合計		36,003	33,560	
財源内訳	一般財源	34,485	30,425	39,511	
	国・県支出金	1,518	3,135	1,155	
	その他()	0	0	0	

「財源内訳」について
 平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	活動実績	橋りょう修繕設計	橋	6	3	8	187
		橋りょう修繕	橋	0	4	1	187
		橋りょう法定定期点検	橋	0	0	0	187

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	橋の安全の確保	橋	目標値	0	4	1
				実績	0	4	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	*****	100	どちらかをチェックしてください

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	跨線橋点検の協定に関するJR八王子支社との下協議において、双方に実績がなく不明な点が多いため協定の概算額が高額になっていたが、県や国等との連絡を密にしなが ら進めた結果、JRの高崎や大宮など他支社との協定の情報が収集できたため、概算額 の精度を上げて当初の負担金を軽減することができた。	計画通りに進められたため目標を達成した。

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了 方向性の	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	法改正等により点検対象の橋りょうが増加したため。また、5年に1回の頻度で定期点検が義務付けられたため。
		次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	定期点検の実施年度となるため。
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性		
	・JR武蔵野線の跨線橋3橋の点検実施(JRとの協定) ・同跨線橋3橋の道路部分の点検及び点検結果からの診断実施 ・橋りょう長寿命化修繕計画対象橋りょうのうち8橋に関し、落橋防止装置の設計実施 ・橋りょう長寿命化修繕計画対象以外の橋りょうで、損傷の進んでいる鳥居橋の修繕		・法改正による定期点検を計画的に進め、5年に1回の頻度を守っていく ・定期点検の結果により橋りょう長寿命化修繕計画の見直しを行う ・基本的には橋りょう長寿命化修繕計画に沿って計画的な修繕を進める ・点検結果から速やかな修繕が必要な橋梁に対し、応急修繕等を検討する		
	評価日	H28.8.16	評価者職氏名	道路維持課長 片岡 秀樹	

環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	橋の点検及び補修工事の実施	規制を受ける環境法令等	無
				緊急事態	無